

指導力評価の最終的な成果物について(案)

- ・「生活者としての外国人」に対して日本語教育を行うための指導力について検討。最終的な成果物の案として以下の三点が考えられる。

最終的な成果物の案	作成に当たっての留意点	検討事項
<p>①チェックシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3「指導力評価に関するチェックリストの項目一覧(案)」のチェックリストに評価結果を記載する欄を設けるなどして、チェックシートを作成する。評価は段階を付けることにより行う(例えば「○」「△」「×」など3段階程度)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックリストで取り上げる項目は、それぞれの地域の日本語教育プログラムの実施形態や実施に関わる人や役割に合わせて選択するものであるということを明記すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には資料3「指導力評価に関するチェックリストの項目一覧(案)」をベースとするが、資料3にどういった手を加えるのかということについて検討が必要。
<p>②ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェックリストによる評価結果を記録するポートフォリオを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価の根拠(「○」「△」「×」を付けた理由)が後から確認できるような様式とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成要素としてどういったものを含むのかということについて検討が必要。
<p>③研修の枠組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チェックリストを基に、研修の枠組みを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の枠組みについては、地域日本語教育コーディネーターと指導者の別に検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックリストの細かな項目からいかに研修の枠組みを作成するか検討が必要。また、研修の枠組みをどの程度の細かさで示すのか検討が必要。 ・ 既に文化庁で実施している「地域日本語教育コーディネーター研修」と整合性を取ることが必要。